

記念講演会

令和元年5月17日(金) 10:35~12:00 本校体育館

本校では、創立七十周年を記念して卒業生による講演会を行いました。校長挨拶、吹奏楽部による記念演奏に続いての講演です。

先生はじめに、整形外科全般や大病院における整形外科の現状が紹介されました。ご自身は臨床経験を経て研究に携わっておられるそうです。また、整形外科の先端医療、希少癌の専門医不足、地域医療を担う医師の不足などについて説明されました。

さらに、先生の経験から、学生時代の留学は異文化をはじめ

さまざまなが学べるのでぜひ挑戦してほしい、互いに切磋琢磨できる部活動にも参加して充実した学生生活を送ってほしいとのメッセージも頂きました。

お礼の花束贈呈の時には、生徒会長佐野公哉君(特進課程三年)からの質問も飛び出し、なごやかな雰囲気での講演会を終えることができました。生徒たちにとって、日々学んでいくことの大切さやこれからの社会で活躍するための勇気を感じ取る良い時間となりました。

さまたまなことが学べるのでぜひ挑戦してほしい、互いに切磋琢磨できる部活動にも参加して充実した学生生活を送ってほしいとのメッセージも頂きました。

お礼の花束贈呈の時には、生徒会長佐野公哉君(特進課程三年)からの質問も飛び出し、なごやかな雰囲気での講演会を終えることができました。生徒たちにとって、日々学んでいくことの大切さやこれからの社会で活躍するための勇気を感じ取る良い時間となりました。



おかげさまで本校は、令和元年五月十七日(金)、創立七十周年を迎えることができました。

七十年の歴史は、昭和二十五年に自然豊かな出水平野のこの地で始まりました。その後、幾多の変遷を経て、昭和六十年には校名を現在の出水中央高等学校と改め、三学科五課程を有する北薩地区唯一の私立の雄として、進学や国家資格取得に、また部活動の活躍にと実績を重ねています。



校長 長博隆

三代目にも渡る永い年月です。実際、「孫がお世話になります」という言葉や「子供をよろしくお願ひします」という声を多くの卒業生の方々に耳にします。

そこには、確かな歴史の重みと伝統の深さを感じることが出来ます。生徒の皆さんは、日々の学校生活において先輩や後輩と時間を共有しながら学業や部活動などに汗を流し、それぞれに目標に向かって成長

最後、繰り返しとなりますが、創立以来七十年の永きに渡り、ご支援ご協力頂きました地域の皆さま、同窓会、PTAの皆さまに感謝し、御礼を申し上げます。そして、七十周年を契機として、本校が皆さまと尚一層の連携を図りながら、磨き輝き、益々発展していくことを祈念いたします。

長していますが、その時々今という時間は、またたく間に過ぎ去り蓄積され、過去となって歴史の中にかたちを変えていきます。同時に、日々を生き、互いに支え合い、影響し合い、その一瞬一瞬に費やされた努力や情熱は、次代に脈々と継承され、それらが遙か昔より現在までひとつに繋がって、伝統へと結び付いていくのだらうと思います。

生徒の皆さん、今までの歴史や伝統を意識する機会が少なかつたかも知れませんが、皆さん自身がその歴史の流れの一端に身を置いていくことを、是非この機会に認識してほしいと思います。そして、七十周年を振り返り、今の自分が積み重ねられていることを実感してほしいのです。現在まで繋

がれた絆を大切にしてください。本校がこれまで送り出した卒業生は、延べ一万七千人を超え、全国各地・各界で立派に活躍しています。生徒の皆さんが、先人たちが築いてきた伝統ある出水中央高校の生徒であることを誇りに思い、自分の可能性を信じ、常に好奇心と向上心をもって新しいことに挑戦し、新たな歴史を築いていってくださるようお願いいたします。

最後に、繰り返しとなりますが、創立以来七十年の永きに渡り、ご支援ご協力頂きました地域の皆さま、同窓会、PTAの皆さまに感謝し、御礼を申し上げます。そして、七十周年を契機として、本校が皆さまと尚一層の連携を図りながら、磨き輝き、益々発展していくことを祈念いたします。

がれた絆を大切にしてください。本校がこれまで送り出した卒業生は、延べ一万七千人を超え、全国各地・各界で立派に活躍しています。生徒の皆さんが、先人たちが築いてきた伝統ある出水中央高校の生徒であることを誇りに思い、自分の可能性を信じ、常に好奇心と向上心をもって新しいことに挑戦し、新たな歴史を築いていってくださるようお願いいたします。

創立七十周年を祝う

中央生として誇りを



発行所
鹿児島県出水市西出水町
出水中央高等学校
TEL 0996-62-0500
FAX 0996-62-6677
https://izumi.ac.jp
info@izumi.ac.jp

校訓
「勤規協 勞律調」

横浜国立大 1名, 九州大 1名, 長崎大 1名, 熊本大 1名, 大分大 1名, 宮崎大 1名, 鹿児島大 9名 など

国公立大学 合計 **23名** **合格** **努力の成果**

●大学・短期大学
特進課程は横浜国立大学一名・九州大学一名・長崎大学一名・熊本大学一名・大分大学一名・宮崎大学一名・鹿児島大学一名・防衛大学一名・立教大学一名・立命館大学一名・福岡大学一名などの合格者がいました。普通課程の合格者も含めて大学一〇四名、短期大学十名の合格者を含めると、合計一五名となります。詳細は左の一覧表をご覧ください。

●専修学校(各種学校を含む)
専修学校を選択する生徒は、就職に直結する資格や技能の修得を目指しています。

●就職状況
昨年度は就職を希望する生徒一三二名が内定しました。内訳は看護師八十一名、介護福祉士二十八名、一般事業所十二名、公務員二名です。本校では、医療福祉科と看護学科では校内実習のほか、インターンシップ(臨地・施設・介護実習)を実施しています。一般事業所を希望する生徒に対しては、外部講師によるガイダンス・面接指導を実施し、公務員を希望する生徒には公務員模試などを校内で行っています。

●介護福祉士
国家試験概況
第三十一回介護福祉士国家試験について、平成三十一年三月二十七日(水)に合格発表がありました。全国の合格率は七十三・七%、福祉系高等学校の平均合格率は七十六・八%となっています。本校からは三十二名が受験し、その合格率は九十六・九%で、全国よりも高い合格率を維持しています。

平成三十年四月、医療福祉科では三十四名の生徒が三年生に進級しました。ユニークな生徒が多く、反発し合うことも多々ありましたが、新たな目標を見つめ進む道が別れたクラスメイトもいました。受験した三十二名は、国家試験が近づくと、彼ら自身が全員合格を目標として捉えてくれたようでした。そして、国家試験直前には、互いに弱点を克服しようとう協力し合う姿が見られるようになりました。その甲斐あってか、

進級当初には合格が危ぶまれていた生徒も含め、ほとんどの生徒が今年の合格基準点を十人以上も上回る点数で合格しています。しかし、合格率が一〇〇%でなかったということは、残念ながら不合格者があったということです。次回の国家試験ではがんばって合格してくれることを祈ります。

さて、平成から令和に変わる本年度、新たに二十九名の生徒が三年生になりました。現在は、高校生最後の実習に臨んでいます。そして、実習が終われば本格的な受験対策が始まります。保護者と連携を図りながら、医療福祉科職員全員で受験生が合格できるよう支えていきます。

●看護師国家試験概況
第一〇八回国家試験の合格発表が三月二十二日(金)にありました。本校では、看護師養成五年一貫教育へ移行後の十三期生として、八十名が受験しました。全国の合格率が八十九・三%の中、本校は九十六・二%の合格率となりました。全員合格を目指して国家試験対策委員会を設置して十二日目となり、〇限や八限・九限、休暇期間を利用して国家試験対策講座への参加や、校内・校外のゼミへの積極的参加などに取り組んでいます。看護学科職員全員が「全員合格」を合い言葉に、今年度も四月四日から補習授業を実施し、臨地実習と並行しながら頑張っている生徒を支えています。

平成30年度 大学合格実績

教養課程				特進課程			
大学	人数	大学	人数	大学	人数	大学	人数
愛媛大学	1	福岡工業大学	1	横浜国立大学	1	日本赤十字広島看護大学	1
名城大学	1	熊本学園大学	1	九州大学	1	九州国際大学	1
沖縄職業能力開発大学	1	別府大学	1	長崎大学	1	九州共立大学	1
育英大学	1	鹿児島国際大学	2	熊本大学	1	久留米大学	3
北里大学	1	大学計	19	大分大学	1	純真学園大学	2
多摩大学	1	福岡女子短期大学	1	宮崎大学	1	福岡大学	9
日本大学	1	鹿児島県立女子短期大学	1	鹿児島大学	9	福岡国際医療福祉大学	1
岐阜経済大学	1	鹿児島女子短期大学	1	北九州国立大学	1	長崎総合科学大学	1
関西学院大学	1	短大計	3	熊本県立大学	3	熊本保健科学大学	2
久留米大学	3	合計	22	名桜大学	1	崇城大学	5
福岡大	2			防衛大学校	1	第一工業大学	1
				国土館大学	7	平成音楽大学	1
				清和大学	1	立命館アジア太平洋大学	1
				高千穂大学	1	九州保健福祉大学	1
				東京農業大学	1	鹿児島国際大学	2
				東洋大学	1	鹿児島純心女子大学	1
				日本社会事業大学	2	大学計	77
				立教大学	1	大分県立美術短期大学	1
				東海大学	1	鹿児島県立女子短期大学	3
				京都外国語大学	1	鹿児島純心女子短期大学	1
				立命館大学	5	第一幼児教育短期大学	1
				近畿大学	1	短大計	6
				関西国際大学	1	合計	83

2019年度 出水中央高等学校 オープンキャンパス等予定表

6月9日(日) 8:30-15:30 文化祭	8月31日(土) 9:30-16:00 吹奏楽部体験入部
6月22日(土) 10:00-12:00 看護・福祉体験	9月7日(土) 8:50-15:30 体育祭
8月3日(土) 10:00-12:30 体験入学	10月14日(月) 10:00-12:30 体験入学
8月4日(日) 10:00-12:30 体験入学	11月16日(土) 10:00-12:00 戴帽式
13:30-16:30 野球部体験入部	12月6日(金) 18:30-20:30 本校入試説明会

※その他、学校見学・出前授業・出張説明会等随時実施可能。ご連絡・お問い合わせをお待ちしております。

問い合わせ先 出水中央高等学校 代 表 TEL0996-62-0500
広報企画室 TEL0996-62-6677 (Fax兼用)

「今、野球が楽しくてしょうがない」と。振り返れば、そんな彼は先に示した七つの伸びる人の共通点に合致していると思える。「野球を心から楽しむ」ということは、成長した証である。今秋、ドラフトで彼の名が呼ばれ、プロの世界でその勇姿を見せてくれることを心から望んでいる。(青木 和義)

二〇一九年三月二十九日、プロ野球が開幕した。また、学校も四月一日から新年度を迎え、学校生活が始まった。夢や目標を持って学校生活を送っている生徒達に、「成長する人の共通点を紹介したい」とそれは、素直であること、好奇心旺盛であること、忍耐力がありあきらめないこと、準備を怠らないこと、几帳面であること、気配りができること、夢を持ち目標を高く設定できること、以上七つである。この伸びる人の共通点を掲げていた人物は、プロ野球で打撃コーチをしていた高島淳宏氏である。プロ野球界では、伝説の打撃コーチといわれ七球団を渡り歩き、約三十年間、選手を技術面や精神面を鍛え育てた。三月二十一日に引退をしたシアトルマリナーズのイチロー選手もそのひとりである。その他、落合博満選手・小久保裕紀選手など三十人以上の名だたるタイトルホルダーを育て上げた。高島氏は七つの中でも、「素直であること」が伸びる要素の根底になると言っている。令和元年の今年、プロ野球のドラフト候補に挙がっている本校の卒業生がいる。彼のことは彼が野球を始めた頃から知っているが、当時からずっとプロ野球選手になろうと夢を持っていた。現在は大学野球で、副キャプテンとしてチームを牽引し優勝に向けて鼓舞している。自分ごとより、チームのことを最優先に考えて行動している。このような姿を見ている、高校時代より一回りも二回りも成長し、自信に満ち溢れているように思えた。そして先日、彼に会った時、こんなことを言っていた。「今、野球が楽しくてしょうがない」と。振り返れば、そんな彼は先に示した七つの伸びる人の共通点に合致していると思える。「野球を心から楽しむ」ということは、成長した証である。今秋、ドラフトで彼の名が呼ばれ、プロの世界でその勇姿を見せてくれることを心から望んでいる。(青木 和義)

新任紹介



徳田 傑 先生 (看護学科 理科)



藤川 睦子 先生 (看護学科 看護)

①東海大学医療技術短期大学 ②映画鑑賞 ③アッパルパイ・マンガ ④生徒にわかりやすく興味ある授業を



松山 光子 先生 (特進課程 国語)

①鹿児島大学 ②バスケットボール・パソコン ③肉・カレーライス ④生徒たちにとって分かりやすい授業を



山田 龍之介 先生 (事務)

①鹿児島国際大学 ②登山・アクアリウム・野球観戦(広島東洋カープ)・音楽鑑賞・楽器演奏 ③イタリアン料理 ④平成二十二年に教養課程(吹奏楽部)を卒業し



宮 伸秀 先生 (教養課程 数学)

①東京理科大学 ②Jazz鑑賞(特に一九六〇年前後の曲が大好きです) ③魚介類の刺身 ④三十八年間目指してきて、これからも目指したい教師像



城須 智也 先生 (野球部監督)

①出水学園高等学校 ②銭湯巡り ③果物 ④昭和六十年三月に本校を卒業し、昨年度三月末まで地元消防本部に三十四年間勤務



留学生紹介

韓国・大田広域市(テジョン)出身のパク・ヨヌ君が入学しました。パク君は日韓両国で開催された二〇二〇FIFAワールドカップの翌年生まれの十六歳です。



PTA会長に西島勉様再任



西島 勉 会長

今年度のPTA・後援会総会は、五月十一日(土)本校体育館で行われました。保護者は四七九名のご参加で、西島勉様が令和元年度PTA会長に再任されました。

生徒総会開催

四月二十六日(金)三・四限目に生徒総会が開催されました。その中で、今年度の生徒会スローガン「獅子搏兔(ししはくと) いかなる時も全力で」が決定しました。

サッカー部県総体準優勝!

本校サッカー部は鹿児島県高校総体で準優勝に輝きました。その中で、準決勝は二一五名、決勝は五〇名の応援団を派遣しました。

特進日曜教室開講(中学3年生対象)

英語・数学・国語を中心に学ぶ楽しさ、出来る喜びを体験してみませんか? 特進課程の進学実績を支えた授業と個別指導で将来、難関大学合格につながる学びを手に入れよう!

前期日程 6月16日 英語・数学・国語 7月14日 数学・国語・英語 後期日程 11月10日・11月24日 12月8日・12月22日 1月12日

令和元年度 部活動の活動実績

- 野球部 平成31年度出水地区春季高校野球大会(4/17・4/18) 準決勝 対出水 9-5 勝利 決勝 対出水 14-7 勝利 ※優勝

- バドミントン部 第64回鹿児島県春季バドミントン選手権大会(4/13-14・20-21) 【女子団体】 1回戦敗退(対伊集院高校)

野球部

本年度は城須新監督と新入部員15名を迎え、部員43名、マネージャー3名、指導者4名の50名でスタートしました。屋内練習場を完備した専用球場で、悲願の甲子園出場を達成するために日々精進しています。

駅伝部

出水市陸上競技場を中心に活動しています。陸上競技の目標でもある「より速く!」に対して一人一人が真摯に取り組み、個々のレベルアップを図る中で、個人ではインターハイ出場、チームとしては全国高校駅伝出場を目指したいと考えています。

吹奏楽部

現在83名でとても恵まれた環境の中、練習に励んでいます。昨年度は、九州吹奏楽コンクールで金賞を受賞、11月には全日本高等学校吹奏楽大会in横浜に出場し審査員長賞・バンドジャーナル賞を受賞しました。

サッカー部

1月の県新人大会では決勝まで行くものの5度目の挑戦もあつと一つの壁を突破できず、またしてもシルバメダルでした。まだまだ頂に立つべくこの力が無いという現実を受け入れて、ハードワークスポーツである素晴らしいサッカーというスポーツを通して人間性を磨き、サッカー道に精進します。